

問 地域防災計画見直しは毎年しているか

答 平成17年度見直し後、修正していない



津滝俊幸議員

【防災について】

問 災害対策法改正で4月に「地区防災計画制度」が新設されたが、村の整備状況及び進捗状況は。

村長 地区防災計画として村防画の素案を防災会議に提案する方法がありますので、村防画で検討してもらいます。

問 各地区自主防災組織は、有事の際には機能するか。未設置地区への対応は。また、装備や、観光客への対応は。

村長 26地区の組織ごとに避難訓練や初期消火訓練など実施しています。未設置地区には、結成を働きかけます。村自主防災組織防災資機材購入費補

助金を、既に限度回数に達している組織へも交付していきま

問 観光客対応は、道路標識や案内看板の整備、収容施設の検討、観光客を交えた防災訓練の実施を進めたいです。

災害時の連携体制は。

村長 「長野県市町村災害時相互応援協定」を締結しており、被災市町村への応援活動や本村が被災した場合の応援支援を受ける体制になっています。

問 県は12の生活衛生同業組合と支援に関する協定を結んでいます。

地域防災計画の周知は。

村長 地域防災計画見直し後、パブリックコメントを経

問 土砂災害等の避難勧告の判断は。

村長 「長野県砂防情報ステーション」のHP情報から、降雨量や斜面崩壊の前兆現象などを総合判断し危険と判断した場合、避難勧告発令します。

問 職員は防災計画に基づく訓練は。

村長 昨年、姫川砂防事務所と合同で一部のメンバーで災害対策本部を立ち上げ、災害対応シミュレーションを

問 消防団無線は免許期限後にデジタル化が義務付けだが、基本方針は。

村長 アナログ使用期限は平成28年5月末で、その後デジタル化へ移行、デジタル無線は一基約50万円と高価で厳重保管が必要なので、所有台数を減らし、不足分は特定小電力トランシーバーで補っていきます。

問 【道路網整備や大系線について】

村長 地域高規格道路の村内ルート

問 早期決定と、主要道路の渋滞緩和対策や夜間騒音対策、乗降客が減少している大系線について、関係機関への要望や実情は。

村長 高規格道路は地図上ではルート策定可能であり、

県へ提示できる原々案を村期成同盟会に検討させたいと考えます。騒音はその旨を要望していきたいです。大系線については「大系線利用促進輸送強化期成同盟会」を中心とし、JR西日本へ要望しました。



災害に備えて消防ポンプ操法を研鑽(消防団)

【第4次総合計画について】

問 第4次総合計画の精査や第5次総合計画の策定準備は。

村長 本年度中に庁内内部評価を実施後、新たな策定委員会による客観的評価を経て、未達成要因を分析し、第5次総合計画へ反映したいです。今後、計画審議委員公募、年末に住民アンケート調査を実施予定です。

【ヤフーとの連携について】

連携内容と進捗状況は。

村長 庁内で連携の検討をしているところで、ITを活用した観光事業、教育支援、販売事業に絞り込みました。具体的内容は今後詰めていきます。